

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	小中学校校舎等改修事業			事業番号	10-102
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	教育部	谷亀 博久	教育総務課	古清水 千多歌	

計 画 (Plan)

総合計画体系	暮らし力	まちづくり目標	1	誰もが明るく暮らせるまち	
		基本政策	3	人がつながり未来を拓く学び合うまちづくり	
		施策展開の方向	1	子どもの生きる力をはぐくむまちをつくる	
		施策	10	安全で快適な教育環境の整備	
予算事業名	小学校校舎等改修事業費		中学校校舎等改修事業費		
事務区分〔選択〕	<input type="radio"/> 自治事務 <input checked="" type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→		法令上の位置づけ		
事業開始年度	開始年度	平成25年度以前	～	終了年度	—
関連法令等	—				
国・県の計画等	—		計画期間	—	
関連個別計画	伊勢原市教育振興基本計画 伊勢原市小中学校施設保全計画		計画期間	平成22年度～平成29年度 平成25年度～平成34年度	
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	学校施設の老朽化への対応とともに、生活様式の変化や授業形態の多様化に対応した施設整備が求められている。				
目的 (何をどうしたいのか)	学校施設の機能・性能の向上を図る改修を行い、安全で快適な学習環境の確保と、災害時の避難施設としての充実を図る。				
主な対象 (誰・何を対象に)	児童生徒及び学校施設利用者				
事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校校舎のトイレのリニューアルを進めます。 施設ごとに抱える個別課題の解消に必要な改修等を実施します。 				
事業行程	項目	年度			
		28年度	29年度		
	トイレ全面リニューアル	中沢中西校舎工事		成瀬中3期校舎工事	
	教育環境改善改修	(成瀬小エレベーター設置工事)		比々多小体育館屋根改修工事	
目 標	【指標名】	【現状】	年度		
			28年度	29年度	
	トイレのリニューアル実施数	1カ所	2カ所	3カ所	



事業実施 (Do)へ

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	国の補助採択の関係で先送りした成小エレベータ設置工事に優先的に取り組んでいく。また、計画に対し遅れが生じている校舎トイレのリニューアルについても着実な推進に努めていく。		
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> すべて直接実施 <input type="radio"/> 左記以外		
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容
実施結果	項目	年度	
		28年度	29年度
	トイレ全面リニューアル	未実施	
	教育環境改善改修	成瀬小エレベータ設置工事	
実施した取組の内容	成小エレベータ設置工事を実施した。		
目標の達成状況	【指標名】	【現状】	年度
			28年度
	トイレのリニューアル実施数	1カ所	1カ所

年度		28年度 実績				29年度 実績			
事業費合計 (a)		42,615	千円				千円		
内訳	国県支出金 ①	5,050	千円				千円		
	地方債 ②	9,000	千円				千円		
	その他特財 ③	0	千円				千円		
	一般財源 (a)-①-②-③	28,565	千円				0	千円	
国県支出金の内容		学校施設環境改善交付金 補助率:国1/3							
コスト	その他特財の内容	受益者負担		<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		前回の改定時期			
		その他							
人件費	正規職員	0.95	人	8,218	千円		人		千円
	その他の職員	0.48	人	1,166	千円		人		千円
	人件費合計 (b)	1.43	人	9,384	千円		人		千円
トータルコスト (a)+(b)				51,999	千円				千円
単位当たりコスト	対象数	改修施設数		単位				単位	
	定義								
	対象数	1	カ所						
総事業費 / 対象数		51,999,000	円					円	

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	B	左記判断理由	成小エレベータ設置を実施し、平成29年度には中学校3校の校舎トイレの改修を行う予定としており、概ね計画どおりに進捗している。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	B	他都市の事業内容等	県内各市においても学校施設の機能・性能の向上への取組など、計画的な改修に取り組んでいる。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	校舎トイレのリニューアルと洋式化を進め、児童生徒が使いやすく快適な施設となり有効性は高い。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	事業の実施に当たっては、国庫補助事業を活用し、効率的に実施するよう努めている。


 取組の改善 (Action)へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	校舎トイレの計画的なリニューアルを中心に、状況に応じた教育環境の改善を引き続き進める必要がある。
次年度取組方針		平成28年度の国の補正手当で採択された中学校3校のトイレの全面リニューアル工事を実施する。		
所管部長による総評		学校施設の改修は、児童生徒に安全で快適な学習環境を提供するとともに、災害時の避難施設として機能の充実を図ることができ、多面的に有益な事業である。児童生徒の学校生活に大きくかかわるトイレのリニューアルを主に、学校施設の機能・性能の向上を図る改修事業を進める必要がある。		